

ぱっか!どう NIE・通信

第31号

発行 北海道NIE推進協議会

〒060-8711 札幌市中央区大

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内
☎011-210-5802 FAX 011-210-5826

A circular portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a white shirt and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

留辺蘂高校長

成田 雅昭

生きる力育むNIE

化されていますが、記事はテーマが焦点
霧開氣や息づかいがみずみずしく伝わ
り、新鮮さと説得力を保っています。
また、読者の投書欄は年齢や男女、職
業の違いを超えて様々な人々が切実に
感じる意見が掲載されており、特に弱
者への温かい視点が感じられます。子

昨今、学力問題が大きな課題になっていますが、世界に通用する学力を育む有効な教育方法の一つとして今後ますますNIEの役割が大きくなるとされています。それだけ子どもたちを指導する教師の役割は重要であり、改めて責任の重さを感じます。みんなでNIEの輪を広げていきたいのです。

国ランクの下位に位置づけられた。全ての学校でNIE活動を展開していくればもつといい結果が……とは私のおごりだろうか▼年の暮れに漂う暗雲を払い少しは明るい気持ちで新年を迎える。（高）

人のペースで読むことができたり、読み返すことができます。子どもたちが様々な課題意識を持ち、新聞記事を切り抜いて、自らの考えをまとめたり、人に説明する上でも大きな説得力を持っています。

私は、よく新聞記事の切り抜きを活用しています。NIKEの実践を通して、物事をできるだけ多面的に捉え、自ら考え方や、課題に積極的に取り組み、想像力や判断力、発表力を身に付けるとともに思いやりの心や豊かな感性など、生きる力を着実に育てるところにつながっています。

道内の報道各社で組織している北海道NIE推進協議会は、年明けから、授業に活用する新聞の提供を受ける2008年度「NIE実践校」の応募を受け付ける。日本新聞教育文化財団が学校数に基づいて認定している北海道の「正規枠」は従来通りの32校だが、来年度からは、これとは別に、継続して熱心に取り組んでいる学校を「奨励枠」として新たに認定することになった。

1月から応募受け付け

都道府県に対し、最大5校（全国では最大50校）まで認める。具体的には実践校（または実践者）の経験があり、NIE活

べての枠について実践校を募集する。財団の「正規枠」認定校は本年度から3年間継続できるようになつた。新聞活用の定着を目指して、教育現場の期待に応じて、8紙を購読できる。

道内の報道各社で組織している北海道NIE推進協議会は、年明けから、授業に活用する新聞の提供を受ける2008年度「NIE実践校」の応募を受け付ける。日本新聞教育文化財団が学校数に基づいて認定している北海道の「正規枠」は従来通りの32校だが、来年度からは、これとは別に、継続して熱心に取り組んでいる学校を「奨励枠」として新たに認定することになった。

来年度実践校 「奨励杯」を新設

動的の先進的な取り組みを実施している学校を対象とする。また、財団が主催する全国NIE大会の開催予定地域（来年は高知県、再来年は長野県）については、実践の経験がなくとも優先的に認定するこ^とにしている。なお、本年度は道内で

新規校提供が2学期からとなる新規校を含め、1月から応募を受け付け、2月末までに推薦候補校を絞り込む予定だ。

本年度の道内実践校は、財団認定、協議会認定、府県別では全国で最も多く。

新教材の魅力

新教材の魅力

今年のNIEセミナーの特色は読解力・思考力・表現力の育成を目指し、自発的に書かれた子供たちの意見文、感想文などを新聞各社へ投稿するなど発信型の実践が多い。その結果、自分を見つめさせる場となり子供の成長・変容が確認できたと報告があつた▼年末の楽しい学習新教材として役立つ魅力的な実践「今年の10大ニュース」「今年の流行語は」「07年の世相を表す漢字一字」への挑戦がある。新聞をしつかり読みこなし自信作を新聞へ投稿。「みらい君の広場」「川柳」「俳句・短歌」の活用例の発表も多い▼新聞は朝読書、朝のニュース、放送朝会などで活用され、高校では朝学習として全年が小論文や進路指導として活用、読むことは朝の礼拝であり活用すると授業が変わると報告された▼OECDの調査でも案の定、子供の学力は低迷、読解力の低下だけでなく学習意欲も下がる気の薄さが表出。全国学力テストの結果、北海道は小中校とともに全国ランクの下位に位置づけられた。全ての学校でNIE活動を展開していればもつといい結果が……私はおごりだらうか、やる気の薄さが表出。▼年の暮れに漂う暗雲を払い少しは明るい気持ちで新年を迎える。(高)



子供たちの関心が高く、元気な発言が続いた山鼻南小の公開授業

の6年1組(月澤康宏教諭)、同2組(林杏子教諭)の総合学習「新聞から視野広げよう」の公開授業は、山鼻南小(ら広がる世界)(3時間扱い)で、両クラスとも2回目の授業。1組では「気温がどの

ようになってしまった記事や気温の変化に関する関連記事を読んで、熱中症で11人が亡くなったり、産業にも影響を与えていたことに思いを巡らし、気温の変化が暮らしを左右していることを考えながら意見を出し合い、ワークシートにまとめた。

2組は「北海道のうまい魅力は何か?」がテーマ。品種改良やPRが実った「道産米の消費初の7割」「有機力ボチャ」「甘み全国負けぬ」などの記事を読み、うまい秘密を自由に発言して探しあつた。その結果、子供たちは「人々の工夫や努力によってうまくあるかを話し合つた。」

日本NIE学会の第4回大会が11月17、18の両日、東広島市の広島大学キャンパスで開かれた。NIEに取り組む教師たちが「優れたNIEの理論化を目指して」をテーマに、メティアリテラ

第12回北海道NIE研究大会が11月22日、札幌市山鼻南小学校で開かれた。道内各地から教育関係者ら約

70人が参加、公開授業や実践発表を通して、大会テーマ「生きる力をはぐくむNIE」に掲げた、多面的なものの見方が出来る子どもの育成を目指して研究討議した。

新聞から視野広げよう

山鼻南小
公開授業

「気温」「食」テーマ

社会で生きる力育成

NIE 学会 実践例を報告



NIEの理論化を目指し、活発な意見が交わされたNIE学会の課題研究

山鼻中の公開授業は3年・選択社会(弘中祐教諭)。学習内容は「新聞を通して社会を論ずる」。生徒たちは記事を活用することで、広い視野をもつてデイベートし、判断力が勝敗を決めることで、広い視野を立てる大切なことを学んだ。

定山渓中の安孫子和典講師は「新聞から学ぶ社会の常識・国語の常識」をテーマに、年代、経歴が異なる生徒たちへの指導内容を説明した。

北海道NIE推進協議会と共催で本年度第2回NIE実践交流会「冬季研修会」を1月11日午後2時から、北海道新聞社(札幌市中央区大通西3-16)のNIEプラザで

1月11日に冬季研修 NIE研究会 IIE研究会 IIE実践交流会「冬季研修会」を1月11日午後2時から、北海道新聞社(札幌市中央区大通西3-16)のNIEプラザで

響を与えているかを調べさせた。「生徒たちは、ニュースが世論の動向に与える影響が大きいことに気づき、政治の仕組みもよく理解できた」と報告した。

実践発表では、旭川市大有小・駒津和康教諭がニユースが世論の動向に与える影響が大きいことに気づき、「政治の仕組みもよく理解できた」と報告した。

毎日のニュースが世論調査の結果にどのような影響があるかを報告する。

1月11日に冬季研修 NIE研究会 IIE研究会 IIE実践交流会「冬季研修会」を1月11日午後2時から、北海道新聞社(札幌市中央区大通西3-16)のNIEプラザで

開く。北海道新聞の三好則男論説主幹がミニ講演し、同研究会事務局長の豊島義明・札幌市羊丘中教頭が第12回北海道NIE研究大会の成果と課題について報告する。

大有小・駒津和康教諭がニユースが世論の動向に与える影響が大きいことに気づき、「政治の仕組みもよく理解できた」と報告した。

実践発表では、旭川市大有小・駒津和康教諭がニユースが世論の動向に与える影響が大きいことに気づき、「政治の仕組みもよく理解できた」と報告した。

実践発表では、旭川市大有小・駒津和康教諭がニユースが世論の動向に与える影響が大きいことに気づき、「政治の仕組みもよく理解できた」と報告した。

メディアアカーデ新聞作り

児童が記者やデスクに挑戦

静岡新聞社

静岡新聞社は地域交流プロジェクト「元気発見団」の一環として、小中学校を対象に新聞づくり講座を開いています。本年度は10校を巡回し、新聞制作の楽しさを知つてもらつた。また、隔週で発行する「こどもかがく新聞」も、児童の新聞に親しみつきかけづくりに一役かっている。

(静岡新聞社NIE担当・篠崎純)

小中10校を巡回

「元気発見団」は静岡県内各地に臨時の取材拠点を設け、3、4日間の日程で地域のニュースを集中的に取材し、紙面に紹介する。シンポジウムや各種イベントについては、

いま
静岡で

ラマン、デスク役になつて、修学旅行の出来事や先生のインタビューなどを、パソコンで紙面化しました。新聞は早速「かつとび君」で印刷、児童は「お母さんに自慢したい」と新聞に興味を持ち続けてもらうためには、一度限りの催しに終わらせな

い、こちらからの働きかけが大切である。日本新聞教育文化財団の「わがまち新聞コンクール」には11月28日付け、北海道NIE推進協議会は12月4日付けで、教材として

「かがく特捜隊」の取り組みは、本年度の「経営・業務部門」新聞協会賞を受賞した。

その上で①学習指導要領の改定案の中で新聞を教材として明確に位置づけるべきである②言語環境の整備上から学校図書館への新聞を常備すべきである③教科横断的な環境教育などの教材として新聞を取り入れるべきである」と主張している。

△帯広市緑丘小・橋本隆史教諭△本別町仙美里中・乙戸貴宏教諭△士幌町中央中・高橋飛鳥教諭△上士幌高校・佐々木あずさ教諭△室蘭・胆振セミナー▽伊達市伊達東小・坂井亮一教諭▽室蘭市北辰中・宗像美貴子教諭▽洞爺湖町洞爺中・田中研吾秀

系列の静岡放送によるテレビ、ラジオ中継なども行つてゐる。11月に袋井市で行つた「元気発見団」では、編集スタッフと本社メディアアカーデ「かつとび君」が市立今井小、三川小、浅羽東小に出かけた。編集局整理記者と制作技術局員が、6年生に新聞のできるまでを解説し、児童は記者やカメ



整理記者から新聞の読み方を学ぶ子どもたち
=袋井市立浅羽東小

■特捜隊」が活躍
昨年11月創刊の「こど

編集後記

○…第4回NIE学会の自由研究では、学習指導要領の改訂に向けた中教審の審議を意識して、「PISA(OECD学習到達調査)型読解力を高めるのにNIEは有効」という発表が相次いだ。○…この読解力の観点は、テキストに書かれた「情報の取り出し」だけでなく、テキストの「解釈」や自分の経験、知識と関連づけて考え、表現する「熟考・評価」なども含んでいて、日本の伝統的な読解力とは異なる。

○…自由研究で注目されたのは、NIE効果の検証。NIE実施の前後に行った中学1年のテスト結果では、いずれの観点でも生徒たちの正答率が高くなり、自由記述でも無答率が減ったという。○…つい先日発表された2006年PISAによると、日本の高校1年の読解力のレベルがまた低下した。次代を切り開く子供たちの将来を考えると、NIEの普及は欠かせないと思う。(小)

2月にセミナー
■帯広と室蘭で

第6回NIE帯広・十勝セミナーは2月9日(土)午後1時半から、十勝毎日新聞社5階会議室(帯広市東1条南8丁目)で、第4回NIE室蘭・胆振セミナーは2月

16(土)午後1時半から、

北海道新聞室蘭支社(室蘭市幸町5-6)でそれ

ぞれ開かれる。

新聞記事の活用、新聞

づくりなどに取り組む教

論たちが実践発表する。

両セミナーの発表者は次

の通り。問い合わせは北

海道NIE推進協議会事

務局へ。☎011-210-5802。

△帯広・十勝セミナー

お知らせ

新聞を学校教材に

中教審部会に意見具申

財団と協議会

日本新聞教育文化財団の新聞の効果を説くパブリックコメントをそれぞれ提出した。

北海道新聞室蘭支社(室蘭市幸町5-6)でそれ

ぞれ開かれる。

△帯広市緑丘小・橋本隆

史教諭△本別町仙美里

中・乙戸貴宏教諭△士幌

町中央中・高橋飛鳥教諭

△上士幌高校・佐々木あ

ずさ教諭△室蘭・胆振セミナー

▽伊達市伊達東小・坂井

亮一教諭△室蘭市北辰

中・宗像美貴子教諭△洞

爺湖町洞爺中・田中研吾

秀